

宮城県でCSFの発生を確認（75例目）

令和3年12月12日、宮城県の養豚農場において、豚熱（CSF）の患畜が確認されました。

農場概要は下記のとおりで、発生農場では、飼養豚の殺処分及び焼埋却等のまん延防止措置が実施されます。

養豚農家をはじめ畜産関係者の皆様方におかれましては、引き続き、ウイルス侵入防止のため、特に下記に注意して飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、CSFの特定症状を示す異常豚を見つけた場合には、当所へ早期通報いただくようお願いいたします。

【農場概要】

発生例	発生場所	発生日	飼養状況
75例目	宮城県大河原町	12月12日	約9,700頭
疫学関連農場	宮城県白石市		

- 農場出入口等での車両や靴底消毒の徹底
- 野生動物の侵入防止対策の強化
- 農場立入者の記録の徹底
- 食品残さ等を原材料とする飼料の加熱等適切処理
- 複数頭の豚で、発熱、死亡等の異常豚をみつけた場合の家畜保健衛生所への早期通報

県南家畜保健衛生所 TEL0957-68-1177
※土日祝日の休庁日も繋がります。

【家保ホームページ】

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/nogyo/kennanshippei/csf/>

